

平成 11 年 2 月 26 日

川崎市長 高橋 清 様

川崎市事業評価検討委員会
会長 黒川 和美

平成 10 再評価実施事業の審議結果について

平成 10 年 12 月 7 日、貴職から「建設省所管公共事業の再評価実施要領」に基づき依頼のありました国庫補助事業にかかわる再評価実施事業（別紙「平成 10 再評価実施事業（国庫補助事業）一覧表」）に対する対応方針案について、3 回にわたり委員会を開催し、審議した結果を次のとおり報告いたします。

1. 委員会は、まず貴市関係局から再評価実施 1 2 事業について、再評価にかかわる概要の説明を受け、各委員から疑問や不明な点などについて質した。
2. 次に、再評価実施要領に基づき、主として事業分類毎に 7 事業（上記別紙一覧表の印を付した事業）を抽出し、それぞれの事業について、評価の概要、再評価の考え方、対応方針案等について審議した。
3. この結果、審議対象 7 事業について、「継続」とする市の対応方針案は妥当と判断した。また、これに基づき他の 5 事業についても同様の取扱いをすることで支障ないものと考ええる。
4. なお、上記の判断にかかわらず、今後、事業を継続するうえで、次の点に配慮すべきであると考ええる。
 - (1) 等々力緑地などの公園事業については、規模が大きく、それが事業の長期化の原因の一つとなっている。事業が長期化していることについては、今後の用地の取得計画やこれまでの整備の経緯、今後の整備予定地など明らかにしたうえで、地権者の理解を深める必要がある。
 - (2) 登戸土地区画整理事業については、事業が遅延することによる社会的な不利益も十分認識し、重点地域を定め集中的に進めるなど、事業を早期に進める工夫が必要である。
 - (3) 新川崎地区の整備（街並み・まちづくり総合支援事業）については、段階的な整備手

法を検討するなど基幹事業（土地区画整理事業）と連携を取り、整合を図ることが必要である。

- (4) 丸子中山茅ヶ崎線など道路事業については、長期化した主な理由を用地取得の難航としている。今後は、事業の重点化、多様な財源の確保等を図り、権利者の意向に柔軟に対応できる体制づくりが必要である。
- (5) 平瀬川の河川改修事業については、事業の必要性や事業が長期化した理由を市民に明らかにするとともに、事業遅延のデメリットなどについて、市民に理解を求め、事業を着実に進めるべきである。
- (6) 川崎市下水道事業については、長期にわたる継続事業であることを踏まえ、下水道全体の必要性の評価だけでなく、事業内容や事業目標の変化などに応じて、その都度評価ができる仕組みづくりとそれに基づく対応が必要である。
- (7) これらの事業は、川崎市総合計画「川崎新時代 2010 プラン」に位置づけられ、快適な市民生活と地域の発展を支える重要な社会資本の整備であるが、事業用地の取得難や財源問題などから、結果的に事業が長期化したり着手できないなど、整備が遅れてしまったものである。こうした遅延にともなう不利益を解消するためにも、今後、事業を進めるにあたっては、以前にもまして、情報の公開などを進め、積極的に市民の理解を得ることに努める必要がある。

5. なお、再評価実施要領の事業評価の審議手続きとしては、時間的制約もあり抽出方式を採らざるを得ないものとするが、抽出外事業に対する委員会としての責任を考慮すると、制度上、こうした手続きについても一層、工夫すべきものとする。また、下水道事業のように事業全体を一括する評価手法についても改善の余地があるものとする。

（以上）

（添付資料）

平成 10 再評価実施事業（国庫補助事業）一覧表

川崎市事業評価検討委員会委員名簿

川崎市事業評価検討委員会会議日程

平成 10 再評価実施事業（国庫補助事業）一覧表

区分	番号	事業名	再評価の理由	対応方針案	事業採択年 (工事着手)	工事経過年	長期化の理由	再評価の実施主体
都市計画 公園事業	1	等々力緑地		継 続	S32	42 年	用地取得の長期化、用地取得後下水道事業や市民ミュージアム、アリーナの建設が続いたことなど	川崎市
	2	事業菅生緑地		継 続	S58	16 年	東地区を優先整備。地権者と係争。未処理の国有財産処理などに時間を要したことなど。	川崎市
	3	川崎市制 60 周年記念公園		継 続	S60	14 年	用地取得が長期化したことなど。	川崎市
区画整理	4	登戸土地区画整理事業		継 続	S63	11 年	既成市街地において、約 1、358 棟の既存建築物の移転、公共施設整備、輻輳する権利関係に伴う移転補償の交渉に多大な時間を要したことなど。	川崎市
街並み・ 街づくり	5	新川崎地区		継 続 (段階的整備)	H3	8 年	地下の大幅な下落により事業の採算性が厳しく、地権者との減歩との合意形成が難航しているなど	川崎市
街 路	6	東京丸子横浜線(L=1、504m)		継 続	S53	21 年	用地交渉が難航したため。	川崎市
	7	丸子中山茅ヶ崎線(丸子通、L=616m)		継 続	S56	18 年	用地交渉が難航したため。	川崎市
	8	丸子中山茅ヶ崎線(小田中、L=416m)		継 続	S62	12 年	用地交渉が難航したため。	川崎市
	9	世田谷町田線 (登戸 L=820m、万福寺 L=401m)		継 続	S63	11 年	用地交渉が難航したため。	川崎市
関公促進	10	上麻生蓮光寺線道路改良 (栗木第 2 土地区画整理事業、L=1650m)		継 続	S61	13 年	区画整理事業との調整及び用地交渉が難航したことなど。	川崎市
河 川	11	都市基盤河川改修事業(平瀬川)		継 続	S46	28 年	河川の延長が長いこと。用地取得に多くの時間を要したことなど。	川崎市
下 水 道	12	公共下水道		継 続	S33	41 年	計画的に整備面積を拡大するとともに、人口増加などによる下水流入量の増大に合わせて施設を建設していることなど。	川崎市

*街並み・街づくり：街並み・街づくり総合支援事業

*関公促進：住宅宅地関連公共施設整備促進事業

【再評価の理由】

事業採択後 5 年を経過した時点で未着工の事業

事業採択後 10 年を経過した時点で継続中の事業

川崎市事業評価検討委員会委員名簿

委員	加藤仁美（かとうひとみ）	東海大学工学部助教授
委員	岸井隆幸（きしいたかゆき）	日本大学理工学部教授
委員	黒川和美（くろかわかずよし）	法政大学経済学部教授
委員	輿水肇（こしみずはじめ）	明治大学農学部教授
委員	原田博夫（はらだひろお）	専修大学経済学部教授

（敬称略 五十音順）

川崎市事業評価検討委員会会議日程

	開催日時	開催概要
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 10 年 12 月 7 日(月) 14 時 30 分から 16 時まで (於)いさご会館第1、2会議室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再評価実施事業(12 事業) 概要及び本市対応方針案説明ほか
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 10 年 12 月 24 日(木) 14 時から 16 時まで (於)いさご会館第1、2会議室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議対象事業の抽出(7 事業) ・ 審議対象4事業の集中審議ほか
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 11 年 1 月 25 日(月) 13 時 30 分から 16 時 30 分まで (於)いさご会館第1、2会議室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議対象3事業の集中審議 ・ 再評価実施事業対応方針の取扱いほか